

会派視察・研修報告書

会派名 市民の会

代表者名 仙石 三喜男

1 日 に ち	令和5年10月25日(水)～26日(木)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	全国市議会議長会研究フォーラム 会場：西日本総合展示場新館
3 参 加 者	仙石 三喜男
4 調査・研修の テーマ	統一地方選挙の検証と地方議会の課題
5 主な内容	<p>25日：基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」 パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <p>26日：課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」</p> <p>【視察】25日：既存事業の磨き上げと再整備による観光名所化の取り組み（高塔山）（Cコース）</p> <p>26日：魚町銀天街でのSDGs推進への取り組みと北九州市の創業支援への取り組み（Gコース）</p>
6 所感、提言事項、課題等	<p>【議員氏名】仙石 三喜男</p> <p>1. 大正大学片山教授（元鳥取県知事）による基調講演は、知事の時の素晴らしい経験から市議会がワクワクする術を講演していただいた。しかし、その後のパネリストの近畿大学の辻教授が現状の難しさや違いから修正すべき点を指摘され、本当にワクワクする市民の為の議会を目指すことの難しさや大切さを感じたところです。具体的な内容は、</p> <p>1) 議会は、本来地方自治体の要であり、市政運営において市政の方向を決定する大きな権限がある。議会の議決・決定により、執行機関である行政が市政を執行する制度を再認識。しかし、実態は予算編成権を持つ首長の権限が大きく、議会は残念ながら首長の議案に「異議なし！」で終わっていないか？</p> <p>2) 「異議なし！」で終わっている地方議会に欠けている理由は、</p> <p>①公開の場である議場での真剣な議論が少ない議会が多い。</p> <p>②「税」の議論がほとんどなされていない。自治体の財政が異常事態になってようやく議論が始まる。遅い！</p>

6 所感、提言事項、課題等

③住民の声を拾い切れていない。耳を傾けていない。などの指摘があり、議会として住民・市民の関心をもっと市政の主体である議会に向けられるよう努め、せっかく策定した議会基本条例策定後の現状が本当に議会改革になっているかしっかり検証・認識をして欲しいとの指摘がされました。

- 3) 地方議会への3つの期待・課題として、具体的に以下の提案がありました。①首長が提案した議案の修正は、あるのが通常であってよい！②お金がないなら議会の裁量で標準税率を見直せばよい！あるいは、予算の中身を議会でチェックし変更すればよい！③住民・市民の声の反映については、議会の審議の過程で住民の多様な声を議会として、又は委員会として意見を聞く姿勢があつてよい。

*躍動的でワクワクする市議会であるには、議会は議決権をしっかりと行使して、行政が市民に対して着実に政策を執行していくことが大切とのアドバイスをいただいた基調講演でした。

2. パネルディスカッション及び課題討議は、4名のパネリスト及び3名の事例報告者から現状の課題や問題点が指摘され、特に議員のなり手不足の検証などについて議論がなされ、地方議会の課題等について考える機会にはなりました。しかし、議会の活性化と議員のなり手不足などは、なかなか歯車の合わない現状の議論にしか思えてなりません。私は、辻教授が指摘されたように、若い人は政治家に魅力を感じない、なりたいたとも思わない、投票にも行かない現実を捉えると、議会が何をやっているのか理解してもらえないようにしていかなければならないと思います。その為にも、多様性に富んだ人財がやってみたいと思う環境づくりが必要との指摘は私も思うところです。できれば社会のメカニズムを変革し、働いた経験、社会の経験を生かして頑張れる方が議員に多くなっていたきたい！！
3. 高塔山についての視察は、日本の3大夜景の1つである小倉の夜景を見学しながら、観光名所化の取組を学んだ。
魚町銀天街等の視察は、商店街梯理事長の説明と案内でアーケード街の賑わいを見学しながら、SDGsの商店街を目指す先進的な取組について学ぶことができた。

7 写真等

※視察の場合は必須、研修の場合は任意



高塔山から小倉の夜景



梯理事長の説明